



「秘みつのため池」 「ふるさと田んぼと水」子ども絵画展2009 日本政策金融公庫農林水産賞

目次

第52回通常総会	2	会員情報	12
第51回全国土地改良功労者表彰式	4	<input type="checkbox"/> 市制変更・市町合併・土地改良区解散	
速報 平成22年春の叙勲・褒章	4	<input type="checkbox"/> 21世紀土地改良区創造運動	
農業用排水機県営移管期成同盟会第49回通常総会	5	● 水土里ネット愛知用水、水土里ネット豊田	
平成22年度愛知県予算	6	● 21世紀土地改良区創造運動東海管内支援連絡会議 実務担当者会議	
農政情報	7	平成22年度本会参与	14
<input type="checkbox"/> 食料・農業・農村基本計画		事業情報	14
開催予定 2010ため池フォーラム in あいち	8	<input type="checkbox"/> 水土保全強化対策事業	
ため池の外来魚等生息状況調査取組開始	9	<input type="checkbox"/> ISO9001:2008更新	
ため池百選選定	10	水土里ネット愛知辞令	16
研修会	11	部署別ダイヤルイン	16
<input type="checkbox"/> 臨場指導研修			
<input type="checkbox"/> 水土里ネット役職員研修会			



みどり
水土里ネット 愛知

発行所／愛知県土地改良事業団体連合会
名古屋市西区栄生一丁目18番25号
電話(052)551-3611(代)

第52回通常総会開催

～ 提出議案原案通り議決 ～



神谷会長 開会の挨拶

本会の第52回通常総会を3月17日、名古屋観光ホテルにおいて、神田真秋愛知県知事始め、釘田博文東海農政局次長、吉川伸二愛知県議会議長ほか、国、県の関係者多数の来賓を迎え、会員150名余が出席して開催した。

総会は、川上万一郎理事の開会のことばに始まり、神谷金衛会長の挨拶の後、土地改良功勞者7名に対し、神田愛知県知事より表彰状が、また、神谷会長より、土地改良団体職員永年勤

続者22名に対し表彰状が授与された。続いて来賓祝辞として神田愛知県知事、釘田東海農政局次長、吉川愛知県議会議長よりそれぞれ祝辞をいただき議事に入った。議長には、宇都野 武音羽町土地改良区理事長が選任され、平成20年度事業報告並びに収支決算、平成21年度収支補正予算、平成22年度事業計画、収支予算等提出議案はいずれも原案通り議決された。また、理事の補欠選任が諮られ、山口文雄幸田土地改良区理事長と横山光明設楽町長が選任された。続いて県下の土地改良事業のより一層の推進を図るため、国及び県に対する要望決議を全会一致で採択し、最後に三浦孝司理事の閉会のことばで総会を終了した。

土地改良事業推進に関する要望決議

世界的な食糧需給の逼迫が危惧され、我が国における食料自給体制の強化が急務となっている中、土地改良事業は、安定した農業用水と生産性の高い優良農地を確保するうえで、ますますその重要性が増している。

また、本県では、東海・東南海地震など大規模地震への対策や、平成十二年の東海豪雨を教訓とした排水対策など、地域の生命線である防災対策を担っている土地改良事業に対し、県民の要望は一層高まっている。

さらに、本県の土地改良事業は、美しく快適な農村環境の形成や、農村地域における生物多様性の保全にも大きく貢献しており、本年、愛知・名古屋で開催される生物多様性条約第十回締約国会議（COP10）において、環境先進県愛知を発信する一翼を担っている。

我々土地改良関係者は、このように極めて重要な土地改良事業を、強力に推進するため左記事項を強く要望する。

記

- 一、大幅に削減された国の平成二十二年度農業農村整備事業予算を一刻も早く復活し、安心・安全な食料を安定供給するための農業生産基盤、災害に強い地域をつくる農地防災対策、生物多様性保全等に資する農村環境整備を推進すること
- 一、地域住民が一体となつて、貴重な地域資源である農地、農業用水、土地改良施設などを保全する農地・水・環境保全向上対策を推進すること
- 一、地域に密着した単独県費補助事業を推進すること
- 一、土地改良施設維持管理に対する財政支援を拡充強化すること
- 一、土地改良団体の育成強化を始め、事業推進体制を一層整備すること

右決議する。

平成二十二年三月十七日

愛知県土地改良事業団体連合会
第五十二回通常総会

第52回通常総会



神田愛知県知事 来賓挨拶

愛知県土地改良事業団体連 第52回通常総会



伊藤専務理事 要望決議朗読

愛知県知事表彰

(敬称略)

所属・役職	氏名
協和土地改良区副理事長	黒川 栄一
丹羽用水土地改良区理事長	高田 洋
飛島土地改良区理事長	佐野 幸雄
美浜町土地改良区理事	家田 閏一郎
額田土地改良区理事長	山内 隆一
豊田土地改良区理事	吉田 善一
小坂井町土地改良区理事長	中西 一二



愛知県知事表彰受賞の皆様方

愛知県土地改良事業団体連合会会長表彰

(敬称略)

所属団体	氏名
【名古屋支会】	
木津用水土地改良区	大西 清子
【一宮支会】	
一宮市	堀田 恭史
宮田用水土地改良区	光田 康良
宮田用水土地改良区	今泉 武三
宮田用水土地改良区	原 巧実
宮田用水土地改良区	岸 本昌往
【海部支会】	
鍋田土地改良区	渡邊 友貴
海部津島水利事務所	平野 宗近
海部津島水利事務所	牛田 直樹
【半田支会】	
愛知用水土地改良区	鈴木 英典
【岡崎支会】	
岡崎市	権田 康弘
明治用水土地改良区	加藤 俊夫
明治用水土地改良区	鈴木 康仁
明治用水土地改良区	三浦 勇次
岡崎市東部土地改良区	本多 忠義

所属団体	氏名
【幡豆支会】	
幡豆水利事務所	名倉 雄一
【豊田支会】	
矢作北部土地改良区連合	梅村 洋子
豊田土地改良区	佐藤 邦彦
【豊橋支会】	
牟呂用水土地改良区	菅谷 忠司
豊川総合用水土地改良区	益子 誠二
【愛知県土地改良事業団体連合会】	
	佐藤 広尚
	磯谷 亮輔



愛知県土連会長表彰受賞の皆様方

第51回全国土地改良功労者表彰式 開催



野中全土連会長 挨拶

3月26日、全国土地改良事業団体連合会主催による第51回全国土地改良功労者表彰式、農業農村整備優良地区コンクール表彰式、並びに土地改良事業地区営農推進優良事例表彰式が東京都千代田区永田町シェーンバツハ・サポーにおいて開催され、功労者表彰は、農林水産大臣表彰(5地区)、全国土地改良事業団体連合会会長表彰(金章36地区、銀章60地区、銅章

45地区、個人表彰96名)、農業農村整備優良地区コンクール表彰(農業生産基盤整備部門12地区、農村振興整備部門5地区)、土地改良事業地区営農推進優良事例表彰(9地区)受賞地区及び受賞者にそれぞれ表彰状が贈られた。

本県からの受賞は次のとおりです。

全国土地改良事業団体連合会会長表彰

功労者表彰

金章 十四山土地改良区

銀章 旭土地改良区

銅章 阿久比南部土地改良区

個人表彰

中野 治美
(愛知県土地改良事業団体連合会理事・向島土地改良区理事長)

服部 辰美
(愛知県土地改良事業団体連合会名古屋支会事務長)

営農推進優良事例表彰

JAあいち中央碧南露地野菜協議会

受賞された皆様、大変おめでとうございます。

速報 平成22年春の叙勲・褒章

旭日双光章

神谷 金衛 氏

水土里ネット愛知会長
水土里ネット明治用水土地改良区理事長



平成22年春の叙勲・褒章の栄えある受賞者に土地改良関係者から4名が選ばれました。おめでとうございます。

5月12日には農林水産省で勲章伝達式が挙行されます。

旭日双光章

佐藤 繁 氏 蟹江大滞悪水土地改良区理事長

瑞宝単光章

大江 弘光 氏 元大草排水機場運転操作員

黄綬褒章

竹内 武士 氏 知多市土地改良区理事長

農業用排水機県営移管期成同盟会 第49回通常総会 開催

農業用排水機県営移管期成同盟会 第49回通常総会



服部同盟会長 挨拶

2月9日、名古屋観光ホテルにおいて、農業用排水機県営移管期成同盟会の第49回通常総会が、来賓に青木章雄農林基盤担当局長始め、農林基盤担当局長の方々及び各農林水産事務所長を迎え、会員多数出席のもと開催された。

総会は、佐野幸雄副会長(飛鳥土地改良区理事長)の開会のことばに始まり、服部金藏会長(孫宝排水土地改良区理事長)の挨拶がなされた後、農業

用排水機技術者6名の永年勤続表彰を行い、服部会長から感謝状と記念品が贈られた。

続いて議事に入り、議長には河合恭弘副会長(田原市土地改良区理事長)が選任され、平成20年度事業報告・同収支決算承認、平成22年度事業計画・同会費の賦課基準・同収支予算・役員を選任について審議し、原案どおり可決承認された。

また、河合議長より、1月8日開催の役員会において、農業用排水機維持管理費予算の確保並びに本同盟会の活動についてより一層の充実を図るため、浜田一徳自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟会長に、本同盟会の顧問に就任いただいた旨の報告がなされた。

議事終了後、青木農林基盤担当局長から祝辞が述べられ、引き続きご臨席いただいた来賓の紹介を行い、総会は幕を閉じた。

永年勤続表彰受賞者

(敬称略)

管内	所属団体	氏名
一宮	領内川用悪水土地改良区	柴田 隆吉
	領内川用悪水土地改良区	恒川 一
	領内川用悪水土地改良区	横井 美喜夫
海部	蜂須賀区	花木 守正
	蜂須賀区	木 全勝
岡崎	刈谷市	鳥居 睦美



永年勤続表彰を受賞する鳥居氏

お知らせ

～安全啓発看板作成・配付～



田植えも各地で始まり、6月には梅雨を迎えます。農業用排水路などの水位が上がり、危険も増してきます。

今年度も農業用排水機県営移管期成同盟会では、安全啓発ツールとして「農業用施設です なかにはいらないうで！」の看板を、350枚作成し、5月から同盟会会員に配付していますのでご活用ください。

平成二十二年愛知県予算

土地改良関係予算総額は

三三三億三、九九七万円

愛知県では、二月十九日から三月二十五日までの定例県議会において、一般会計一兆二、四四九億二、四〇〇万円、特別会計七、二一六億五、〇四七万円、企業会計一、六四六億四、三三九万円の平成二十二年当初予算案が審議され可決成立した。

なお、土地改良関係の当初予算は次のとおりです。

平成 22 年 度 予 算		平成 21 年 度 当 初 予 算		
区 分	予 算 額	内 容	予 算 額	
	(千円)		(千円)	
土地改良事業費	8,682,653	1. 公共事業 (1) 県営土地改良事業費 ア. かんがい排水事業費 3地区 イ. 水環境整備事業費 9地区 ウ. 排水対策特別事業費 2地区 エ. 水質保全対策事業費 4地区 オ. 畑地帯総合土地改良事業費 7地区 カ. 農村活性化住環境整備事業費 3地区 キ. 農村自然環境整備事業費 1地区 ク. ほ場整備事業費 1地区 ケ. 土地改良総合整備事業費 1地区 コ. 経営体育成基盤整備事業費 5地区 サ. 広域営農団地農道整備事業費 2地区 シ. 一般農道整備事業費 ス. 農地環境整備事業費 3地区 セ. 農業水利施設保全対策事業費 6地区 (2) 団体営土地改良事業費 ア. 事業費補助金 (ア) 農村振興総合整備事業費補助金 (イ) 農業集落排水事業費補助金 (ウ) 土地改良調査設計費補助金 (エ) 地域用水機能増進事業費補助金 (オ) 基盤整備促進事業費補助金 イ. 指導事務費 2. 単県事業 (1) ふるさと農道緊急整備事業費 (2) 小規模かんがい排水事業費補助金 (3) 山村振興営農環境整備事業費補助金 (4) 土地改良事業費補助金 3. 受託事業 土地改良受託事業費 1地区 4. 基幹水利施設技術指導事業費 (1) 事業費補助金 (2) 指導事務費 5. 国営造成施設管理体制整備促進費 (1) 計画策定費 (2) 整備促進費補助金 6. 農業生産団地集積型ほ場整備促進事業費 (1) 推進事業費補助金 (2) 指導事務費 7. 土地改良指導費	7,186,966 6,379,590 1,348,200 561,540 252,000 955,500 993,300 168,000 105,000 80,850 105,000 236,250 961,800 0 420,000 192,150 807,376 782,326 92,800 482,464 28,160 15,552 163,350 25,050 1,453,000 0 84,000 79,000 1,290,000 3,150 3,150 7,590 7,290 300 0 0 0 1,649 991 658 30,298	9,141,049 7,577,430 1,396,500 778,050 119,700 1,131,480 893,550 413,700 42,000 273,000 109,200 504,000 1,164,450 42,000 546,000 163,800 1,563,619 1,512,873 199,340 972,919 9,600 11,392 319,622 50,746 1,817,508 2,508 105,000 98,000 1,612,000 139,930 139,930 10,848 10,418 430 18,280 1,408 16,872 2,356 1,416 940 27,758
農地防災事業費	8,268,025	1. 公共事業 県営農地防災事業費 ア. たん水防除事業費 34地区 イ. 老朽ため池等整備事業費 7地区 ウ. 用排水施設整備事業費 3地区 エ. 地盤沈下対策事業費 8地区 オ. 海岸整備事業費 5地区 カ. 防災ダム事業費 4地区 キ. 土地改良施設耐震対策事業費 7地区 ク. 国営附帯県営農地防災事業費 2地区 ケ. 特定農業用管路特別対策事業費 5地区 2. 単県事業 (1) 緊急農地防災事業費 ア. 排水施設整備事業費 イ. 老朽ため池整備事業費 ウ. 応急排水機整備事業費 (2) 緊急海岸整備事業費 (3) 応急排水機管理費	7,080,300 3,933,300 290,850 267,750 1,627,500 291,000 144,900 42,000 346,500 136,500 1,187,725 1,013,768 937,486 64,000 12,282 168,000 5,957	8,837,864 5,131,350 192,864 267,750 1,829,100 308,000 432,600 35,700 399,000 241,500 897,810 790,515 613,114 167,600 9,801 101,000 6,295
土地改良諸費	6,010,643	1. 直轄土地改良事業費負担金 2. 矢作川利水総合管理費 3. 尾張西部排水施設管理費 4. 土地改良施設維持管理費 (1) 海岸堤防維持管理費 (2) 排水機維持管理費補助金 5. 農村総合整備事業計画調査費 6. 土地改良計画調査費 7. 排水対策調査費 8. 中山間ふるさと・水と土保全対策事業費 9. 農地・水・環境保全向上対策事業費 (1) 共同活動支援交付金 (2) 営農活動支援交付金 (3) 推進事務費 10. 農業農村総合整備事業国庫負担金返還金	4,788,678 256,033 251,775 383,628 12,343 371,285 1,200 2,773 328 10,430 312,672 257,370 29,486 25,816 3,126	4,386,531 280,011 202,334 393,394 12,934 380,460 1,876 6,609 428 10,448 314,878 257,881 28,484 28,513 0
農業用水費	10,333,650	1. 木曾川用水事業費 2. 豊川用水事業費 3. 愛知用水事業費	164,287 4,505,072 5,664,291	164,636 4,552,594 5,669,105
農地施設災害復旧費	45,000	1. 公共事業	45,000	45,000
総 額	33,339,971		33,339,971	36,921,247

食料・農業・農村基本計画

食料・農業・農村基本計画は、食料・農業・農村政策に関する国の中長期的な方針となるもので、食料・農業・農村基本法に基づき、概ね5年ごとに変更されていますが、3月30日、今後10年の農政の指針となる新たな基本計画が閣議決定されました。

新たな基本計画は、農地の減少や農業者の高齢化、農村の疲弊など、より一層深刻化している我が国の農業・農村の厳しい状況を打開し、「食」と「地域」の再生を図るための道標として策定されたものです。

新たな基本計画では、国家の最も基本的な責務として食料の安定供給を確保するとされ、食料・農業・農村政策を我が国の国家戦略として位置づけています。また、「国民全体で農業・農村を支える社会の創造」と明記されるなど、国民に対するメッセージ性の強い内容となっています。

食料・農業・農村基本計画 目次

まえがき

- 第1 食料、農業及び農村に関する施策についての基本的な方針
1. 食料、農業及び農村をめぐる状況を踏まえた政策的な対応方向
 2. 新たな潮流に対応した可能性の追求
 3. 政策改革の視点
 4. 新たな理念に基づく食料・農業・農村政策の一体的展開

第2 食料自給率の目標

1. 食料自給率目標の考え方
2. 食料自給率向上に向けた取組

第3 食料、農業及び農村に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策

1. 食料の安定供給の確保に関する施策
2. 農業の持続的発展に関する施策
3. 農村振興に関する施策
4. 食料・農業・農村に横断的に関係する施策
5. 団体の再編整備等に関する施策

第4 食料、農業及び農村に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

具体の施策の方向性としては、「戸別所得補償制度」や「農業・農村の6次産業化」等の推進により、意欲ある農業者の努力と創意工夫の後押しや、農村地域における地域資源を活用した新産業等の創出などが盛り込まれています。また、食料自給率(カロリーベース)を2020年度に50%への引き上げという意欲的な目標も掲げられています。

農業農村整備の関係(第3.2(7)に記載)では、「農業生産力強化に向けた農業生産基盤整備の抜本見直し」として、食料自給率が低迷する中、より効率的・効果的に

実施するため、施策体系や事業の仕組み等の抜本的な見直しを進め、①国民の食料を支える基本インフラの戦略的な保全管理や、②地域の裁量を活かした制度の推進、③食料自給率の向上等に資する農業生産基盤整備の推進など、農業生産基盤の保全管理と整備の新たな展開を推進するとしています。

また、**農地情報の利活用の推進**(第3.2(4)④に記載)に関連して農地の整備や利用の状況等に関する農地情報(地図情報)の整備を促進し、今後、戸別所得補償制度をはじめ、耕作放棄地の発生抑制・再生利用対策、農業生産基盤の保全管理や整備等の各般の施策等における利活用を推進する。さらに、**農地・水・環境保全向上対策**(第3.3(4)③に記載)に関連して、環境保全機能の維持・向上に関する直接的な助成手法(例えば「環境支払」)のあり方も含め、多面的機能の維持の観点から、今後の施策のあり方について検討することとしています。

詳細は農林水産省ホームページ：http://www.maff.go.jp/j/keikaku/k_aratana/index.html

開催
予定

2010 ため池フォーラム in あいちを開催します!

はぐく いのち
ため池が育む生物と暮らし ～見つめよう 生き物の多様性～

7月下旬から8月上旬にかけて、募集を開始しますので
県内、県外からの多数の参加(予定参加者800名)をお待ちしています。

【開催計画】

- 開催日時・場所：◆本会議：10月22日(金) 13:30～17:00
ウィルあいち 大ホール
- ◆交流会：10月22日(金) 18:00～19:30
アイリス愛知
- ◆現地見学会：10月23日(土) 9:00～16:00頃
県内4コース(尾張、海部、知多、西三河コース)
- 後援(予定)：農林水産省、全国水土里ネット、全国ため池等整備事業推進協議会、
水資源機構中部支社 他
- 主催：2010 ため池フォーラム in あいち実行委員会 (愛知県、水土里ネット愛知)

4月22日、三の丸庁舎において、「第1回2010 ため池フォーラム in あいち実行委員会」が委員6名、アドバイザー6名の出席で開催され、実施計画(テーマ、本会議プログラム、現地見学会)について協議されました。当日は作業部会員5名を含む事務局員等20名程も同席しました。7月16日に第2回実行委員会を開催し、フォーラムの全内容が決定される予定です。



第1回2010 ため池フォーラム in あいち実行委員会

作業部会員・事務局員は、東海農政局、水資源機構中部支社、愛知県と水土里ネット愛知職員で構成されています。

委員・アドバイザー

(敬称略)

委員長	前愛知県副知事	稲垣隆司
副委員長	水土里ネット愛知会長	神谷金衛
委員	愛知県農林水産部農林基盤担当局長	青木章雄
委員	水土里ネット愛知専務理事	伊藤明
委員	愛知県農林水産部農林基盤担当局農地環境対策監	溝田大助
委員	水土里ネット愛知事務局長	樋口利彦
アドバイザー	名古屋大学名誉教授、NPO グランドワーク東海理事長	竹谷裕之
アドバイザー	日本福祉大学経済学部教授	西村一彦
アドバイザー	愛知学泉大学コミュニティ政策学部教授	矢部隆
アドバイザー	中日新聞社編集局生活部記者	片山健生
アドバイザー	農林水産省東海農政局整備部長	田上秀彦
アドバイザー	水資源機構中部支社管理部長	小森清和

本会議概略

報告：「ため池百選」

合唱：「ため池賛歌」

基調講演：鉄崎幹人氏「楽しさ溢れるため池探検」

事例発表：有協の農地・水・緑を守る会 「かいどり大作戦」

パネルディスカッション：「ため池が育む生物と暮らし」

～見つめよう 生き物の多様性～

大会宣言

現地見学会

尾張コース：入鹿池、犬山里山学センター、中島池

海部コース：生物配慮護岸、長良川河口堰、三ツ叉池

知多コース：南廻間池

西三河コース：小草池、豊田市自然観察の森

※各コースの詳細は変更となる場合がありますが、全てのコースに、COP10会場（白鳥会場又は愛・地球博記念公園会場）の見学を計画しています。

ため池の外来魚等生息状況調査 取組開始

本会では、平成22年度緊急雇用創出事業基金事業 ため池の外来魚等生息状況調査業務に4月30日から取組んでいます。5月6日には、豊田市のため池で、矢部 隆愛知学泉大学教授より現地確認調査の捕獲調査の方法を職員14名が実践を交え講義を受けました。

5月17日から捕獲調査を開始しますので、ため池を管理されます市町村、水土里ネットの皆様方には、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、よろしくお願いたします。



矢部教授から指導を受ける本会職員

ため池百選選定

— 本県から4箇所のため池が選定されました。 —

農林水産省は、3月11日、第4回ため池百選選定委員会で美しい景観や歴史があり、地域で親しまれている農業用ため池の「百選」を選定し、公表した。本県からは、入鹿池、三好池、芦ヶ池、初立池の4箇所のため池が選定された。

全国には約21万箇所のため池があり、百選に600箇所を上回る応募があり、現に農業用水に使われ、歴史や景観、生物の多様性などの基準を満たす287箇所（本県22箇所）の候補から、一般による人気投票結果などを参考に有識者が100箇所を選定した。



入鹿池（犬山市）

蘇我入鹿の領地であった入鹿村に尾張藩主徳川義直公により造られた農業用ため池で日本第2の貯水量を持ち、築造以来380年の間、尾張平野東北部の広大な水田1,300haを潤し続けています。平成12年の東海豪雨では、下流の災害防止に貢献しました。また、地域の生態系ネットワーク内で重要な位置を占めており、カルガモ、コアジサシなどの多くの渡り鳥も飛来します。



三好池（みよし市）

昭和34年に愛知用水事業により造られた農業用ため池で、211haの農地に用水を配り、水稻の他、特産の梨、柿、ぶどうの生産を支えています。春の桜、初夏の紫陽花、秋の紅葉が名所となっており、また、堤体などを除き、築造時のままの土の岸辺や雑木林が残されており、マガモ、カイツブリ、ジョウビタキ等の渡り鳥を始めとする多様な生物を育てています。



芦ヶ池（田原市）

豊川用水の調整池として改修された貯水量200万tの大規模なため池で、272haの農地に直接水を配るとともに、豊川用水と連絡し渥美半島の農地を潤す重要なため池となっています。芦ヶ池を核に、田原農業公園（サンテパーク田原）が整備され、農業の紹介、体験、農産物の販売等が行われており、地元を代表する観光地となっています。



初立池（田原市）

昭和43年豊川用水事業によって造られた大規模なため池で、緑に囲まれた中、空と広い水面が作り出す様々な景色が見られます。1,200haに及ぶ広大な畑作地帯を直接潤しています。「サシバの渡り」と言われるサシバの大群が飛来する伊良湖岬が近く、冬になると多くの渡り鳥が湖面にやってくることから野鳥の観察ポイントとなっています。

研 修 会

農業農村整備技術審査向上対策事業 臨場指導研修 開催

1月27日、愛知県土地改良会館7階大会議室において、平成21年度農業農村整備技術審査向上対策事業臨場指導研修会を開催した。本研修は、平成19年度から3年間全国のブロックごとに年1回開催され、今年度は最終年度となる。

平成17年度に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」により、団体営の農業農村整備事業に携わる関係技術者が、発注関係事務の技術審査・技術検査等の技術的審査能力の向上を図ることを目的として、総合評価落札方式に関する「臨場指導研修」が実施された。研修内容は技術審査・技術検査手法の説明を受けた後、「臨場指導研修」の名目通り、参加者が実際の事例を基に、競争参加資格審査事項整理や施工計画評価点数の総括表整理など実践しながら審査調書の作成に取り組んだ。

東海3県から、総勢70名が出席し、有意義な研修となった。

国の補助金交付決定通知には「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に則り、経済性に考慮しつつ価格以外の多様な要素も考慮するよう明記されており、今後の一般競争入札では「総合評価一般競争入札」が主流となるため、本会では会員からの相談を受付けている。

本県は全国的に見ても総合評価落札方式の導入への取組が遅れており、本会は、発注者支援体制を構築する必要があると考え、積極的に取組んでまいります。



審査調書の作成に取り組む研修生

水土里ネット役職員研修会 開催

1月14日、愛知県土地改良会館7階大会議室において、県下67の水土里ネットから役職員総勢101名（役員45名、職員56名）の参加を得て水土里ネット役職員研修会を開催した。

研修会内容は、次頁のカリキュラムのとおりで、それぞれの講師から今後の水土里ネットの業務運営の参考となる講義をいただいた。



伊藤専務理事 挨拶



水土里ネット愛知用水・研修



東海農政局土地改良管理課・研修

[カリキュラム]

研修科目	講師 (敬称略)
流域交流マイスター (平成21年度21世紀土地改良区創造運動大賞受賞)	水土里ネット愛知用水 総務課 課長 大岩 利明 " 技師 山本 哲也 " 主事 藤城 麻奈美
土地改良事業における日本政策金融公庫非補助融資について	日本政策金融公庫名古屋支店 農林水産事業事務センター長 児玉 智行
今年度の土地改良区検査を振り返って	東海農政局 農村計画部 土地改良管理課土地改良区検査官 田中 彰俊 " 山崎 祐治

会員情報

市町村

- 1月4日、西加茂郡三好町が「みよし市」に市制変更されました。
- 市町合併が行われました。

市名	合併関係市町	合併月日
豊川市	豊川市、宝飯郡小坂井町	2月 1日 (編入)
あま市	海部郡七宝町、美和町、甚目寺町	3月22日

土地改良区

- 3月10日に大口町土地改良区、3月31日に犬山市土地改良区と楽田土地改良区が、解散により本会から脱退しました。

5月10日現在の水土里ネット愛知の会員数は、177会員(市町村57、土地改良区120)です。

21世紀土地改良区創造運動

【水土里ネット愛知用水】は、美浜町立河和小学校の四年生児童を対象に、1月28日に「愛知用水の出前授業」を開催し、児童に「愛知用水の歴史」「愛知用水の水がどこから流れて来て何に使われているのか。」「水の大切さ」について学んでもらった。



水汲み体験

愛知用水ができる前は農業や家庭で使う水の水汲みがとても大変だった事を知ってもらうために、当時使用されていた桶の半分程度の水が入ったポリタンクを使い、それを児童2人一組で担ぎ上げる体験をしてもらった。当時の水汲みの写真を見て体験前には「簡単に持てる。」「1人でも大丈夫。」と言った声も上がっていたが、実際に体験すると「重い!」「この倍以上も担いだの?」と水汲みの大変さがよく分かった様子でした。

この他には、愛知用水ができるまでを紙芝居などで説明したり、実際に田畑で使われているバルブと一般家庭用の蛇口を比較し、その大きさの違いを知ってもらった。

後日、出前授業に参加した児童から「愛知用水の事がよく分かった。」「水汲みは大変だった。」「水の大切さがよく分かった。」などの感想が事務所に届いた。



実際に使われているバルブを使って説明

【水土里ネット豊田】 4月11日、農地・水・環境保全向上対策の活動組織「配津みどり保全会(活動面積20ha)」は、昨年度、地域内の未舗装道路の殆どが舗装されたことに伴い、交通量が増加することが懸念されるため平成22年度の点検・機能診断実施時に「この道路は農業用道路です。一般車の通行はご遠慮下さい。豊田土地改良区」の看板を設置した。また、4月25日には「魚のすむ水路をつくろう。」を合言葉に、水路の魚たちが産卵期を迎える前に、小学生30名を含む地域住民約80名が、昨年度「中大排水路」内に設置した魚道の下流に草植えを実施した。



農業用道路の看板設置



魚たちの産卵場所を造成

— 21世紀土地改良区創造運動東海管内支援連絡会議 実務担当者会議 開催 —

21世紀土地改良区創造運動大賞の制度が、平成15年度に設けられ、これを支援するため、21世紀土地改良区創造運動東海管内支援連絡会議が、東海農政局(土地改良管理課・設計課・水利整備課)、東海3県、東海3県水土里ネットの役職員で構成され、運動の進め方などを検討しています。

3月10日、支援連絡会議実務担当者会議が開催され、毎年度各水土里ネットから提出していただいている支援カルテの集計結果や平成22年度の21創造運動東海地方大賞の各県推薦水土里ネットの状況などが検討された。支援カルテから活動状況の推移を調査したところ、3県とも候補水土里ネットはあるので必ず平成22年度も水土里ネットを推薦すべきことや、今後は、地方大賞だけでなく、推薦された水土里ネットすべてに賞を出してはどうかなどが提案された。

愛知県農林水産部の人事異動に伴い、 平成22年度の本会参与に次の方々にご就任いただきました。

(敬称略)

愛知県農林水産部農林基盤担当局長 青木章雄
 愛知県農林水産部農林基盤担当局次長 後藤雄二
 愛知県農林水産部農林基盤担当局農地環境対策監 溝田大助
 愛知県農林水産部農林基盤担当局農地計画課長 八木孝司
 愛知県農林水産部農林基盤担当局農地整備課長 松本裕喜
 愛知県尾張農林水産事務所長 久保田博
 愛知県尾張農林水産事務所 一宮支所長 浅野孝夫

愛知県海部農林水産事務所長 宮嶋勇次
 愛知県知多農林水産事務所長 榊原正幸
 愛知県西三河農林水産事務所長 廣瀬輝男
 愛知県西三河農林水産事務所 糠豆農地整備出張所長 服部芳之
 愛知県豊田加茂農林水産事務所長 長崎栄一
 愛知県新城設楽農林水産事務所長 浦井巧
 愛知県東三河農林水産事務所長 中野良昭

事業情報

水土保持強化対策事業

◆農用地等集団化事業優良地区表彰

平成21年度の表彰式が、東海農政局と東海農用地等集団化協議会の共催により3月12日に東海農政局会議室において開催された。

◆日本政策金融公庫農業基盤整備資金の金利改定

日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利が、右記のとおり改定された。

	1月22日	4月21日
県営補助残	1.85%	→
団体営補助残	1.70%	→
団体営非補助	1.70%	→
災害復旧 5年以内	0.80%	→ 0.85%
10年	1.05%	→
15年	1.45%	→ 1.55%
20年	1.70%	→

詳細については、名古屋支店農林水産業農業食品課(TEL 052-582-0745)にお問い合わせください。

◆土地改良施設の診断・管理指導実績

平成21年度の診断・管理指導は、次のとおりです。

診断・管理指導土地改良区等数			診断・管理指導施設数							指導延日数
土地改良区	市町村	計	頭首工	排水機	揚水機	水路	樋水門	ため池	計	
31地区	27地区	58地区	1箇所	41箇所	25箇所	63箇所	10箇所	7箇所	147箇所	139日

◆土地改良事業に関する法律相談

平成22年度の土地改良法律相談予定日は、次のとおりです。

詳細は、水土里センター室または関係支会にお問い合わせください。

相談日	平成22年6月8日(火)、9月7日(火)、12月7日(火)、平成23年3月8日(火)
場所	愛知県土地改良会館
相談員	弁護士 大場 民男
相談依頼者	愛知県、市町村、土地改良区(連合)

ISO 9001:2008更新される!

本会では、会員の皆様に提供する成果品の品質向上を目指すべく、常に会員重視のもと、成果品の向上と会員満足度の向上に努めております。

一昨年、ISO 9001:2008の規格改訂(ISO 9001:2000の要求事項の意図を変えずに、要求事項の明確化がなされ、更なる顧客に望まれる成果の提供が重要とされました。)があり、本会が取得しているISOの認証機関である財団

法人日本品質保証機構(JQA)の定期審査と併せ移行審査が、

1月28日と29日の2日間、2名の審査員により行われ、マネジメントシステム全体としての継続的な適合性及び有効性並びに認証の範囲に対する適切性が審査され、システムは継続して有効であり、2008年版への移行も適切であるとの評価をいただき、認証の更新を受けることができました。



JQA-QMA13134

【品質方針】

水土里ネット愛知は、会員の満足と信頼を得るため、積極的な情報交換及び蓄積された技術力と新たに習得する技術力並びに品質マネジメントシステムの継続的な改善活動により、成果品の品質向上に努めるとともに農業農村整備事業の業務提供を通じて、新しい農村・地域づくりの実現に貢献する。

平成22年4月1日

水土里ネット愛知

専務理事 伊藤 明

今後も、品質方針に沿って、優秀な成果品の提供を目指し、農業農村整備事業の受託を通じ、優れた技術力のもと、信頼のおける水土里ネット愛知として、業務にあたってまいります。

調査・計画、設計、施工管理、換地・交換分合、測量などの技術支援業務や、**農地情報図(GIS)を活用した「ストックマネジメント」「農用地の利用集積」「農振整備計画の策定」「土地改良施設の維持管理」「土地改良区の運営支援」**などに全力を挙げて取り組んでいますので何なりとお申し付けいただきますようお願いいたします。

水土里ネット愛知辞令

3月31日付

定年退職 岩間 信宣 (事務局 長)

定年退職 大屋 則雄 (岡崎支会 事務長)

定年退職 山口 茂樹 (豊橋支会 事務長)

4月1日付

新	氏名	旧	新	氏名	旧
事務局 長	樋口 利彦 (計画部 長)		整備部 整備課 課長補佐	原田 守男 (整備部 整備課 主任専門員)	
事務局次長兼総務部長	早川 清春 (総務部 長)		計画部 水土里センター室 主任専門員	伊藤 守 (計画部 水土里センター室 係長)	
計画部 長	鈴木 敏生 (整備部 長)		整備部 整備課 主任専門員	渡辺 幹 (整備部 整備課 係長)	
整備部 長	近藤 博 (整備部次長兼業務推進監)		整備部 整備課 主任専門員	平野 隆浩 (整備部 整備課 係長)	
計画部 計画課 長	天野 寿美雄 (整備部 整備課 主幹)		総務部 総務課 主査	早川 晃生 (総務部 総務課 主事)	
岡崎支会 事務長	竹下 和男 (整備部 整備課 課長補佐)		整備部 整備課 主査	大谷 永一郎 (整備部 整備課 技師)	
豊橋支会 事務長	秋田 和一 (計画部 計画課 長)		整備部 整備課 主査	松浦 輝道 (整備部 整備課 技師)	
計画部 水土里センター室 主幹	野畑 誠樹 (計画部 水土里センター室 室長補佐)		整備部 整備課 主査	山田 哲也 (整備部 整備課 技師)	
整備部 整備課 主幹	山本 光也 (整備部 整備課 課長補佐)		整備部 施設管理課 主査	今泉 悦明 (整備部 測量課 主査)	
整備部 整備課 主幹	桑原 一郎 (計画部 計画課 主幹)		計画部 調査課 技師	関山 勝也 (新規 採用)	
整備部 整備課 主幹	戸田 直洋 (整備部 整備課 課長補佐)		整備部 整備課 技師	鳥居 充裕 (新規 採用)	
計画部 計画課 課長補佐	竹下 伸二 (計画部 計画課 主任専門員)		整備部 測量課 技師	颯田 光正 (新規 採用)	
計画部 調査課 課長補佐	山田 隆信 (計画部 調査課 主任専門員)				

部署別ダイヤルイン

総務部

FAX 052-551-3630

● 総務課 TEL 052-551-3611・3612

● 企画広報課 TEL 052-551-3613

計画部

FAX 052-551-3631

● 計画課 TEL 052-551-3614・3616

● 調査課 TEL 052-551-3618・3620

● 水土里センター室 TEL 052-551-3621 (FAX 052-551-3634)

整備部

FAX 052-551-3632

● 整備課 TEL 052-551-3622・3623・3626

● 施設管理課 TEL 052-551-3637・3638 (FAX 052-551-3634)

● 測量課 TEL 052-551-3639 (FAX 052-551-3634)

■ <http://www.aichi-doren.or.jp> ■ E-mail: midori-net@aichi-doren.or.jp

表紙の絵は加藤 一步さん(半田市立亀崎小)の作品です。